

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル見和（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		～ 2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		～ 2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の専門性や知識と経験を活かし、発達支援に関する情報提供や援助技術に関する意見交換を行っている。	訪問支援後には、フィードバックを行い、保育所等の意見を反映するための支援プロセスを意識している。また、保育所等と一緒に取り組める児童の課題などを考える場を設けている。	保護者支援の充実に向け、ワークショップなどを通じた情報提供に努め、家庭での取り組みも支援したい。
2	支援の質を向上に資するため、研修の機会を提供し職員の支援の質の向上を図っている。	保育所等との情報共有の機会を設定して、支援事例や課題解決の知見を共有している。	人材育成を目的とした、教育プログラムやOJTの充実によって、長期的な支援体制を維持したいと考えている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の担当件数が増えていくと負担が大きくなっていくため、支援が十分に行き届かない場合がある。	保育所等や保護者との情報交換のタイミングや方法にやりにくさを感じている。	保育所等や保護者と意見交換や情報交換を行うタイミングの適正化を図り、職員の負担を減らすと共に、支援の質の向上を目指していく。
2	訪問回数や時間に制限があるため、訪問先のニーズにこたえられない場合がある。	必要な情報や課題の設定などが難しい場合がある。	支援内容、スケジュールを調整して滞在時間にできるだけ質の高いサービスを提供するかを考え方法を確立していく。
3			